

模範的テーマ

子どもたちが将来に向けた
選択肢や可能性を拡げ、
『自分らしく生きる力』を育むための
家庭教育支援とは

目指すゴール

柏市の家庭教育支援事業

『みんなの子育て広場』活性化の

具体策の提言

3つの取組

1. 保護者の学び
講演会
 2. 保護者と子どもの学び
親子で学ぶ授業
 3. 保護者同士の交流
情報交換会
- ・保護者の不安や悩みの解消
・保護者同士の仲間づくり

【仮説】

子どもたちは生きづらさを感じているのではないか。



家庭教育支援(みんなの子育て広場)は何かできるか?

生き方の選択肢は
実は幅広い

不確実な時代の中で
選択しないわけにはいかない
大変さ

どちらもあることを親子に示したい

全5回の会議を通して考えていく

『自分らしく
生きる
とは?』

家庭教育では
何かできる?

それ以外に
市民や行政が
取りこめる
ことは?

テーマに対する意見交換

保護者に対するアプローチが今、必要なのでは?



- ・保護者同士コミュニケーションがとれる場
- ・保護者と子どもと一緒に体験する機会

…があるというのでは?

第1テーマ

『自分らしく生きる』とはどのような状態か?

【A班】

- ・『好き』を知っている
 - ・『価値観』を認識している
 - ・『気持ち』に正直にいられている
- 自分らしくを認識している状態

肯定されている環境・経験
『自分から求められている!』感覚

やってみよう!
(やってみよう)

自分らしく
生きる
状態!!

『自分らしい生き方』を体験できる状態に必要な要素

- 安心してチャレンジできる
- 笑顔が溢れる
- ありのままにいられる

【B班】

- ① やりたいこと
 - ② やれること
 - ③ やるべきこと
- この3つのバランスで
自分らしく
表出されるのでは?
- 『自分らしく
人それぞれ
(正解があるものではない)』

自分自身の主導権ってなんだ?



第2テーマ

子どもたちが自分らしく生きるためにどのような力が求められるか?

【A班】



【B班】

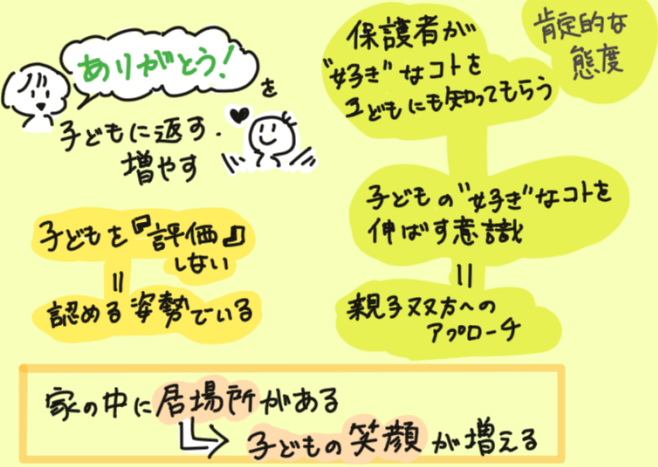


第3テーマ

子どもたちが自分らしく生きる力を身につけるために、
家庭ではどのようなアプローチができるか?

【A班】

会話を増やす・体験活動への参加



【B班】

親子のコミュニケーションを増やす

